

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	22113
課題名	間質性肺炎合併続発性気胸に対する手術例の検討
研究期間	実施許可日 ～ 2024 年 1 月 31 日
研究の対象	2012 年 1 月 31 日～2022 年 1 月 31 日に当院で間質性肺炎の治療中に、気胸に対する手術を行った方。
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：患者の特徴（性別、年齢、BMI、喫煙指数、酸素投与の有無、膠原病の既往、ステロイド使用歴、認知症の有無）、検査所見、外科的治療の詳細（手術の左右、開胸化もしくは胸腔鏡下の有無、被覆剤の使用等の有無、切除部位）、術後合併症、平均入院期間、死亡等） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（手術で摘出した組織： ）
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	続発性気胸は基礎疾患を有する患者に発生することがあります。慢性閉塞性肺疾患の患者で最も多く、間質性肺炎の患者で 2 番目に多いと言われています。間質性肺炎を有する患者では気胸発生時に難治性であることも多く、保存加療が著効せずに外科的治療が必要なこともあります。しかし、様々なリスクがあることから、手術選択は必ずしも容易ではありません。今回、手術を早期に選択できる可能性、周術期のステロイドの使用について、当院で過去 10 年に経験した間質性肺炎に合併した続発性気胸を対象として明らかにしていきたいと考えています。
研究の方法	評価項目として、患者の特徴（性別、年齢、BMI、喫煙指数、酸素投与の有無、膠原病の既往、ステロイド使用歴、認知症の有無）、検査所見、外科的治療の詳細（手術の左右、開胸化もしくは胸腔鏡下の有無、被覆剤の使用等の有無、切除部位）、術後合併症、平均入院期間、死亡等を後ろ向き研究として行います。当院での診療記録における情報を使用します。
その他	特になし
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所在地：旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号

電話：0166-69-3290

研究責任者：旭川医科大学病院 呼吸器センター 吉野流世